

# 伯刺西爾時報號外(第二報)

Director-Masahiro Samesima Proprietario Seisaku Kuroishi

BI-SEMANARIO

Indicação e Administração

S. Paulo 27 de Fevereiro de 1926

Rua Fagundes, 178 - Tel. 7-4670 No 1.162

## 三聯隊蹶起の目的は 國體破壊の元兇洗除

### — 制禦を正すに有りと —

「廿六日朝日新聞ニユース」麻布三聯隊蹶起の目的は内外重大の危期に臨み元老、重臣、財閥、官僚、政黨の國體破壊の元兇を洗淨し、制禦を正し、國體を擁護開けんするにあつて現下の状態からして戒嚴令が布かれる模様である

### 第一、第二艦隊出動

#### 警備につく

【廿六日午後八時四十五分海軍省發表】第一艦隊及び第二艦隊は各々、東京灣、大阪灣の警備を命ぜられて出發、廿七日目的の地に入港の豫定である  
横須賀警備隊は東京灣警備を命ぜられ、廿六日午後芝浦に到着した

#### 悲し兩相の遺骸

#### 自邸に還る

【東京廿七日ラヂオ】永田町首相官邸で、兇徒に襲はれ悲業の最後を遂げた岡田首相の遺骸はけふ二時五十分近親の淋しき見とりの内に淀橋の自邸に還つた  
一方高橋藏相の遺骸も自邸奥の間に安置され、繼嗣是賢氏を始め多くの令孫令嬢が悲しみの涙を絞りつつ納棺をなした、葬儀の日取りは目下決定し

#### 暴徒の首魁は

#### 野中四郎大尉

或る筋の報道に依れば、今次の麻布三聯隊の暴徒の兇首は同隊野中四郎大尉と見られ、同大尉は牧野邸襲撃の際、防衛隊のために遂に射殺されたと云はれてゐる  
死傷者多數 尙、別報によると、暴徒の襲撃の際、兵士の一部は突如、警視

### 渡邊教育總監も即死し

## 牧野伯は生死不明

### 鈴木侍從長は重傷

【廿六日午後八時陸軍省發表】本日午前五時廿分頃、麻布三聯隊の兵士の一部に包圍襲撃せられた岡田首相は官邸に於て即死し、齋藤内大臣及び渡邊教育總監は自邸に於て即死した、なほ鈴木侍從長は官邸に於いて重傷を負ひ、高橋藏相は自邸に於て負傷した尙又、牧野伯爵(前内大臣)は湯ヶ原の別荘を包圍せられて、今の處生死不明である

各地で相當猛烈な交戦が多數を輩出した由で、約演せられ、兩者共死傷者八十名と算せられる

### 第一師團管内に

#### 戒嚴令布かる

【東京廿六日】東京戒嚴司令官に任命された香椎中將は司令官名で左の如く公表した  
東京第一師團管内を戒嚴令布かる

#### 後藤臨時首相

#### 即日辭表提出

【同内務省發表】臨時首相代理となつた後藤内相は、各大臣と共に辭表を提出した

#### 外務省は

#### 包圍されず

【廿七日午前零時廿分内務省發表】廿六日午前五時廿分頃、麻布三聯隊の兵士の一部は突如、警視

#### 重臣顯官大評定

【東京廿六日】皇軍未曾有の不祥事、暴動事件の突發は全國民に多大のショックを與へ、岡田内閣の後任については特に重大視され、皇族、樞密顧問官、軍事參議官、各閣僚其他元老重臣約百十三名が一室に集り舉國一致後繼内閣問題に對する帝國の最高方針を評議決定すべし重大會議が召集されることになつてゐる